

# からし種

日向学院司牧部・宗教科通信



## 第12号

平成 28 年 9 月 27 日

発行

### 神さまの小さな鉛筆

先日、あるドキュメント番組を見た。南米のある国で働いているシスターを、マザー・テレサ\*①が訪ねる場面が映し出された。マザーの乗った小型トラックが着いたとき、シスターは顔を輝かせ、百メートルダッシュのような勢いでトラックに走り寄った。それは、長い間会えなかった母親にふたたび会えた、幼い子供を思わせた。カルカタ\*②のマザー・ハウスでも同じであった。長い旅から帰ってきたマザーを迎えるシスターたちの顔は、喜びにあふれていた。マザーは、文字通りシスターたちの「おかあさん」であり、シスターたちは、本当に本当にマザーが大好きなのである。

番組が終わったとき、一緒に見ていた友人がぽつりといった。「子供たちに見せたいな。」と。わたしもそう思う。子供たちは、数百のことばをもつてするよりも、もつと大きな感動を受けるかもしれないから。そしてまだ先入観のない、柔らかい心が受けた感動は、一生忘れないものになるであろうから。

カルカタのいろいろな施設でボランティアとして働くこと。発展途上国の子供の里親になること。見返りを求めずに寄付すること。どれもこれも立派なことである。だが、もしその同じ人が、両親をないがしろにしていたら？ 弟と仲違いしていたら？ 隣に住んでいる一人暮らしの老人のことを、気にならなかったとしたら？ 遠くにいる人に、目立つ愛の行為をすることは易しい。難しいのは、自分のすぐそばにいる人に、誰にも気づかれないほど目立たない愛の行為を行うことである。「その気になって見まわせば、『カルカタ』は、あなたのすぐ近くにあるのです。大切なのは、どれだけのことばをしたかということではなく、そこにどれだけ愛をこめたかということなのです。あなたの心が痛むまで、愛してください……」

とマザーは説きつづけた。

「わたしは、神さまの小さな鉛筆です。それを使って神様が好きなことをお書きになる、小さな鉛筆なのです……わたしの好きなマザー・テレサの言葉である。マザーは、神の愛を人間の目にも見えるように、紙の上に描いてみせてくれたのである。『神様の小さな鉛筆』になって。」

(カトリック生活第八二二号(一九九七年十一月号) 二二頁より やなぎや・けいこ さんのエッセイより抜粋)

\*①マザー・テレサ 「一九一〇～一九九七」カトリックの修道女。マケドニアの生まれ。幼名アグネス・ゴンジャール・ボヤージュ。

一九五〇年「神の愛の宣教師会」を設立。病人や瀕死の人々の保護・孤児救済の施設を、カルカタ(現コルカタ)をはじめ世界各地に設立。一九七九年ノーベル平和賞受賞。二〇一六年九月四日に聖人とされた。

\*②カルカタ インドのベンガル州の州都。現在は「コルカタ」と呼ばれる

# LET'S READ THE BIBLE IN ENGLISH.

"But store up for yourselves treasures in heaven, where neither moth nor rust destroys, and where thieves do not break in or steal." (Matthew 6 : 20)

「富は天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。」

Hi, everyone! 今回は、学院のHPの下に載っている聖書の箇所です。読んだことがありますか？その英文では、「富」を意味する言葉が“riches”になっていますが、上の訳では“treasures”になっています。なぜ違うのかというと新約聖書はもともとギリシャ語で書かれているので、英語訳は異なるものがあるからです。あなたにとって、大切なもの、すなわち「富」は何でしょう。それはいつまでもなくならないものではないでしょうか。God bless you!

## ミサのお知らせ

10月17日(月)16:30～

場所は学院のチャペルです。ミサとその後の会合も含めて1時間程度です。誰でも自由に参加できますので、ぜひ来てみてください！！

## Christian Library

マザー・テレサ (2005年, イタリア/イギリス)

監督: ファブリツィオ・コスタ

上映時間: 116分

貧困と飢えに苦しむ人々のため、そして世界平和のためにその87年の生涯を捧げた伝説の修道女マザー・テレサの波乱に満ちた人生を映画化した伝記ドラマ。「ロミオとジュリエット」で世界を魅了したオリヴィア・ハッセーが久々の日本登場となる本作で36歳から87歳までのマザー・テレサを熱演。監督はイタリアでTVを中心に活躍するファブリツィオ・コスタ。

9月4日に聖人として認められたマザー・テレサの生涯を描いた映画です。マザー・テレサの生き様をたった2時間で語り尽くすことは本当に難しく、エピソードの切り貼りの映画だと批判する人もいますが、それでもマザー・テレサの活動・思い・苦悩・言葉などが丁寧に描かれているすばらしい映画です。マザー・テレサのことを知っているようで実はよく知らないという人には、この機会にぜひ見てほしい映画です。

